



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2011年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

閣僚名簿発表

野田内閣が午後発足

野田佳彦新首相(54)は2日午前、内閣の顔触れを正式に決め、藤村修官房長官(61)が官邸で閣僚名簿を発表した。民主党の安住淳前国対委員長(49)を財務相に起用、玄葉光一郎国家戦略担当相(47)が外相に横滑りした。小沢一郎元代表に近い山岡賢次元国対委員長(68)を国家公安委員長に、一川保夫参院政審会長(69)を防衛相に就けるなど党内各議員グループのバランスに配慮した「挙党態勢」内閣となった。2日午後には皇居で行われる首相任命式と閣僚認証式を経て民主、国民新2党の野田連立内閣が発足する。

野田内閣の顔触れ		【2011年9月2日発足】	
総理  野田 佳彦 54 党国対委員長、幹事長代理、財務相。早大卒(野田G) 衆⑤千葉4区	国土交通  前田 武志 73 党参院議員副会長、参院予算委員長。京大院修了 参②比例 衆④ 【初】		
総務、沖縄北方  川端 達夫 66 党幹事長、副代表、文科相。京大院修了(旧民社G) 衆⑥滋賀1区	環境、原発事故  細野 豪志 40 党役員室長、幹事長代理、首相補佐官。京大卒 衆④静岡5区 【再】		
法務  平岡 秀夫 57 弁護士、内閣府副大臣、総務副大臣。東大卒(菅G) 衆③山口2区 【初】	防衛  一川 保夫 69 党参院政審会長、政調会長代理。三重大卒(小沢G) 参①石川選挙区 衆③ 【初】		
外務  玄葉光一郎 47 党選対委員長、政調会長、国家戦略相。上智大卒 衆⑥福島3区	官房長官  藤村 修 61 厚労副大臣、党幹事長代理。広島大卒(野田G) 衆⑥大阪7区 【初】		
財務  安住 淳 49 NHK記者、防衛副大臣、党国対委員長。早大卒 衆⑤宮城5区 【初】	国家公安、消費者、拉致問題  山岡 賢次 68 作家秘書、党国対委員長、副代表。慶大卒(小沢G) 衆⑥栃木4区 参② 【初】		
文部科学  中川 正春 61 党税調会長、文科副大臣。米ジョージタウン大卒 衆⑤三重2区 【初】	金融、郵政改革  自見庄三郎 65 郵政相、党幹事長、副代表。九大院修了(国民新) 参①比例 衆⑦ 【再】		
厚生労働  小宮山洋子 62 党財務委員長、厚労副大臣。成城大卒(前原G) 衆④東京6区 参① 【初】	経済財政、国家戦略  古川 元久 45 内閣府副大臣、官房副長官。東大卒(前原G) 衆⑤愛知2区 【初】		
農林水産  鹿野 道彦 69 党副代表、衆院予算委員長、農相。学習院大卒 衆⑩山形1区 【再】	行政刷新、公務員改革  蓮 舫 43 党政調副会長、消費者相。青山学院大卒(野田G) 参②東京選挙区		
経済産業  鉢呂 吉雄 63 農協職員、党国対委員長、副代表。北大卒(旧社会G) 衆⑦北海道4区 【初】	復興対策、防災  平野 達男 57 参院農水委員長、予算委員長、内閣府副大臣。東大卒 参②岩手選挙区 【再】		

【官房副長官】
 [政務] 齋藤 勤 66 衆
 長浜 博行 52 参
 [事務] 竹歳 誠 61

【内閣法制局長官】
 梶田信一郎 63(再任)

その他の特命・担当事項] 総務相=地域主権推進、地域活性化
 経済産業相=原子力経済被害 国土交通相=海洋政策 環境
 相=原子力損害賠償支援機構 国家公安委員長=消費者・食品
 安全 経済財政担当相=科学技術政策、社会保障・税一体改革、
 宇宙開発 行政刷新担当相=「新しい公共」、少子化対策、男
 女共同参画

【初】は初入閣、【再】は再任。数字は年齢。経歴内の丸数字は当選回数。自見氏以外は民主党、Gは民主党の各所属グループ、いずれのグループにも属さない場合や明確に特定できない場合は無記名。敬称略